



平成 25 年 10 月 17 日

各 位

会社名 株式会社 M C J
代表者名 代表取締役社長兼会長 高島 勇二
(東証マザーズ コード番号:6670)
問合せ先 取締役 経営企画室長 廣田 重徳
(電話番号 03-5821-7114)

当社株式の大規模買付行為に関する必要情報リストの交付について

当社は、株式会社レノ（以下「レノ社」といいます。）より、平成 25 年 10 月 8 日付で、当社株式の大規模買付行為にかかる「意向表明書」を受領しておりますが、本日、平成 25 年 6 月 27 日開催の第 15 回定時株主総会において承認された「当社株式の大規模買付行為に関する対応方針（買収防衛策）」に基づいて、レノ社に対し、当社取締役会及び独立委員会がレノ社の大規模買付行為の内容を検討するために必要と考える情報の提供を要請する「必要情報リスト」を交付いたしましたので、お知らせいたします。

当該リストの内容は別紙のとおりとなりますが、レノ社から提供された情報が十分ではないと当社取締役会が判断した場合には、レノ社に対して、追加情報の提供を要請することがあります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社からの情報開示にご留意いただきたく、お願い申し上げます。

以上

(別紙)

<必要情報リスト>

第1 大規模買付者及びそのグループの概要

1. 株式会社レノ(以下「レノ社」といいます。)、レノ社の共同保有者及び特別関係者、これらの者に関連するファンド、並びにこれらの者の株主・出資者・組合員・業務執行組合員・関係会社、投資に関する助言若しくは管理業務を行っている者(直接又は間接を問いません。また、有償又は無償を問いません。)(以下、総称して「レノグループ」といいます。)の概要(具体的な名称、住所、設立準拠法、資本構成、出資先、出資先に対する出資割合、代表者の氏名及び経歴を含みます。)についてご教示ください。
2. レノ社の履歴事項全部証明書「目的」欄の記載によれば、レノ社の事業の内容は、「1 有価証券の保有、運用及び投資、2 企業経営及び財務のコンサルティング、3 貸金業」であるとのことですが、これらの各事業の実績につき、ご教示ください。
3. 上記 2. の事業以外の事業を過去実施していた又は現在実施している場合には、その内容について、ご教示ください。
4. レノ社の役員の経歴(過去所属していた法人、組合その他の団体の名称、所属していた時期、役職及び職務内容。特にその職務内容がファンド関連業務である場合には、これらの詳細についてご教示ください。)、当社の営む液晶モニターの製造・販売、パソコンパーツの仕入・販売、パソコン周辺機器の仕入・販売及びパソコン関連書籍の出版等の事業(以下、総称して「当社事業」といいます。)についての知識及び経験、他の法人、組合その他の団体の役員の兼任状況をご教示ください。
5. レノ社の役員以外の従業員の有無、その人数、職務の分掌、他の会社又は一切の団体との兼職の状況について、ご教示ください。
6. レノ社の意思決定機関(意思決定機関に指示、アドバイス等行う者がいる場合には、その者を含みます。)の概要(各意思決定機関の名称及びそれぞれの具体的な権限事項)、各意思決定機関における意思決定の手続についてご教示ください。また、これらの意思決定機関が個人である場合には当該個人の具体的な役職、氏名及び経歴を、会議体である場合には、参加資格を有する者の範囲及び人数をご教示ください。
7. レノグループ及びその構成員について、現在又は過去の法令等(法律、政令、規則、命令、条例、ガイドライン、通達、行政指導、証券取引所規則その他の規制を含みます。以下同じ。)の違反の事実があるかどうか(存在する場合はその具体的事実関係)、有罪判決(未確

定のものを含みます。)を受けたことがあるかどうか(存在する場合はその罪名及び科刑)、司法機関若しくは行政機関等から法令等の違反行為を認定する判決、決定、命令、処分、指導若しくは指摘等(以下「判決等」といいます。)を受け、又はそのような判決等に関する司法手続若しくは行政手続等の対象となったことがあるかどうか(存在する場合は当該判決等及び当該手続の具体的内容)をご教示ください。

8. レノグループ及びその構成員(業務執行に関与していない投資家を除きます。)について、現在日本国内及び海外において係属している訴訟その他の司法上の手続の具体的内容(係属している裁判所、当該訴訟等の提起の日、当事者、主な争点、訴額等)をご教示ください。
9. レノグループ及びその構成員について、現在又は過去において反社会的勢力との関連を有している場合は、当該反社会的勢力の概要、当該反社会的勢力と関係を有している者の名称、当該反社会的勢力との関係性についてご教示ください。
10. 三浦恵美氏(以下「三浦氏」といいます。)及び中島章智氏(以下「中島氏」といいます。)が過去所属していた法人、組合その他の団体若しくはそのグループ会社又はその構成員(業務執行者を含みます。)について、現在又は過去の法令等違反(インサイダー取引規制違反等の金融商品取引法違反を含みます。)の事実があるかどうか(存在する場合はその具体的事実関係)、有罪判決(未確定のものを含みます。)を受けたことがあるかどうか(存在する場合はその罪名及び科刑)、司法機関若しくは行政機関等から法令等違反行為を認定する判決等を受け、又はそのような判決等に関する司法手続若しくは行政手続等の対象となったことがあるかどうか(存在する場合は当該判決等及び当該手続の具体的内容)をご教示ください。
11. 村上ファンド事件(村上世彰氏(以下「村上氏」といいます。)を被告人とする東京地判平成19年7月19日、東京高判平成21年2月3日及び最決平成23年6月6日の総称)において訴追の対象となった行為が行われた当時の村上ファンド(村上氏が主宰し、株式会社MAC アセットマネジメントの取り扱っていたファンドの総称)における、三浦氏及び中島氏の役職及び職務内容についてご教示ください。
12. 村上ファンド事件及び同事件に至るまでの同ファンド内における一連の意思決定への三浦氏及び中島氏の関与の有無及び内容についてご教示ください。
13. 三浦氏が村上ファンドを退職し、及び中島氏が同ファンドの監査役を退任した理由についてご教示ください。
14. レノグループと、村上氏及び村上ファンド事件当時の同ファンドの役員、従業員、投資家その他の構成員との関係(資本関係、取引関係、役職員の兼任その他の人的関係、契約関係)についてご教示ください。

15. 村上ファンド事件における裁判所の事実認定及び法的判断についてのレノ社、三浦氏及び中島氏のご意見をご教示ください。
16. レノグループにおける、法令等を遵守するための内部統制システム及びコンプライアンスシステムの具体的内容及びその実効性についてご教示ください。
17. レノグループに含まれるファンド、法人、組合その他の団体(ただし、レノ社は除きます。)について、それらの者の名称、保有する当社株式の数、ストラクチャー、当該ファンドにおける想定・期待投資利回り、投資方針、投資要件、投資の意思決定の仕組み及び方法、会計期間、決算期、並びに当該ファンドの業務執行者の報酬の仕組みとその算定方法・基準等をご教示ください。
18. レノグループが実質的に保有する当社株式の株主名簿上の株主の名義、これらの者の株主名簿上の株式の数、これらの者がいかなる契約その他の関係に基づき株主名簿上の株主となっているのか、株主名簿上の株主の名義を変更する予定がある場合は変更予定先の名称について具体的にご教示ください。
19. レノ社の直近3年分の貸借対照表及び損益計算書をご開示ください。

第2 レノグループの投資行動

1. レノグループの①株式会社アコーディア・ゴルフ(以下「アコーディア社」といいます。)、②株式会社フェイス、③SBI ホールディングス株式会社、④セブンシーズホールディングス株式会社、⑤株式会社 JVC ケンウッドに対する投資行動について、それぞれを投資先として決定した理由(レノグループの投資基準の具体的内容を含む。)、株式の取得を開始した時期、株式の取得の目的、投資方針、当初想定していた又は現在想定している投資回収方法及び投資回収期間、実際の投資回収方法及び投資回収期間、当該各投資先の企業価値の向上に資する活動を行った場合には当該活動の具体的内容、経営陣や従業員との間での友好的関係が構築できたか等をご教示ください。
2. アコーディア社の大量保有報告書の変更報告書によれば、レノグループは、その保有目的を、「投資及び状況に応じて経営陣への助言、重要提案行為等を行うこと」としております。実際に投資先の経営陣に対して行った助言、重要提案行為等の内容、これらにより対象会社の企業価値が向上した場合にはその具体的内容等をご教示ください。
3. 上記1.記載のレノグループの投資行動のうち、投資先企業の株式を買い占めた後、その株式を、投資先企業の大株主や経営陣等の会社関係者に対して、高値で買い取らせることにより投資を回収した又は回収しようとしたと思われる事例があれば、これらの行動に至った経緯及びその具体的内容等をご教示ください。また、当社株式についても、今後買い集めを進めた後に、当社又は当社の大株主や経営陣等に買い取らせる可能性があるかどうか、当社

又は当社の大株主や経営陣等がこれを拒んだ場合におけるその他の投資回収の方法及びその内容、並びにその経済合理性、実現可能性、時期等についてどのように考えているかをご教示ください。

4. アコーディア社の平成 25 年 1 月 16 日付「当社株式大量保有者からの書簡の受領およびこれに対する当社の考え方について」と題するプレスリリースによれば、レノ社はアコーディア社に対して、自己株式取得による株主還元を要求していますが、かかる要求を行うに至った経緯及び理由についてご教示ください。
5. 当社に対しては、平成 25 年 10 月 8 日付の意向表明書(以下「意向表明書」といいます。)において、当社の「当社株式の大規模買付行為に関する対応方針(買収防衛策)」に定められた大規模買付ルールを遵守することを誓約していただいておりますが、これにより、今後、レノ社は、大規模買付ルールを法的拘束力のあるルールとして誠実に遵守していただけるものと理解してよろしいでしょうか。
6. 上記 1. に記載した事例の他に、レノグループ及び三浦氏が所属したことがある法人又はファンドがこれまで行った日本国内の企業に対する投資行動の概要(投資基準、投資先の銘柄、株券等の取得の目的、提案行為、投資先企業の企業価値の向上に資する活動、経営への参画の内容等)、並びに各社の株券等の取得方法、投資回収方法及び投資回収期間についてご教示ください。

第 3 大規模買付行為によって達成しようとする目的

1. レノグループが当社株式の保有目的を純投資として、当社の議決権割合を高めることが、当社の一般株主の利益の向上に資するか否か、仮に当社の一般株主の利益に資するとの認識であれば、その根拠について具体的にご説明ください。
2. レノグループにより大規模買付行為が行われた場合、当社株式の流動性がより一層低下するとともに、当社の株主数、流通株式数、流通株式比率及び流通株式時価総額が更に低下することになりますが、このような当社株式の状況をも踏まえた上で、レノグループによる大規模買付行為により、①市場における当社株式の適正な株価の形成機能に生じる影響、②当社株式の上場市場の変更の可能性や上場維持に生じる影響、③当社に対する潜在的な投資家(機関投資家)の投資意欲に与える影響、④その他当社の企業価値及び株主利益に与える影響に関する考え方について具体的にご説明ください。また、そのように当社の株式の流動性が失われるにもかかわらず、当社株式を買い進める理由及びその真の狙いについて具体的にご教示ください。
3. 上記のようにレノグループにより大規模買付行為が行われた場合、当社株式の流動性がより一層低下することになる状況において、どのように、また、どの程度、株価の上昇が期待できると考えているかについて、それぞれの根拠とともに具体的にご説明ください。

4. 上記のようにレノグループにより大規模買付行為が行われた場合、当社株式の流動性がより一層低下することになる状況において、レノグループが取得した当社株式を市場内で全て処分することは現実的に可能と考えているか、仮に市場内で株式を処分した場合に、当社の株式に係る株価は下落する可能性があると考えているか、そのような株価下落の可能性があるにもかかわらず、投資回収が可能であると考えているか、それぞれの根拠とともに具体的にご説明いただくとともに、その他の投資回収方法及びその経済合理性、実現可能性等についても、具体的にご教示ください。
5. 意向表明書において、「中長期的な企業価値の向上に伴う値上がり益を目的として」当社株式を保有するとされていますが、ここでいう「中長期的な企業価値の向上」が意味する具体的内容、これを実現する主体、及びレノグループとの関係等について、具体的にご説明ください。
6. レノグループの当社株式の取得方針、想定投資利回り、投資回収期間、投資回収金額、その他の投資方針に関する基本的な考え方について具体的にご説明ください。
7. レノグループが当社に対して投資を行うにあたり重視した指標及びレノグループが望ましいと考える当該指標の水準についてご教示ください。
8. レノグループの当社株式の現状の株価に対する評価及びその判断基準についてご教示ください。
9. レノグループのこれまでの当社株式の取得にあたっての 1 株あたりの平均コストについてご教示ください。
10. レノグループがこれまで行った日本国内の企業に対する投資のうち、「中長期的な企業価値の向上に伴う値上がり益を目的として」株券等を取得及び保有した事例について、投資先の銘柄、株券等の取得方法、投資回収方法及び投資回収期間をそれぞれ具体的にご教示ください。
11. レノグループがこれまで行った日本国内の企業に対する投資のうち、「中長期的な企業価値の向上に伴う値上がり益を目的として」株券等を取得及び保有した事例について、経営者に面会するなどして、株価上昇や利益の株主への還元のため、中核となる事業に資産を傾注したり、余剰の資産を処分したり、増配、自己株式取得やレノグループが推薦する者を取締役として選任すべきであるなどという具体的な提案を行なったことがある場合、提案の具体的内容、提案を受けた企業の対応、企業による提案の実行により生じた株価上昇の有無及びこれによりレノグループが受けた利益の内容についてそれぞれ具体的にご教示ください。
12. 上記 11. に記載した事例において、レノグループの提案を実現するために、委任状争奪戦

(プロキシファイト)を実行したことはあるか、その結果はどのようなものであったのかについて具体的にご教示ください。

13. 意向表明書において、当社株式の買付けの目的は「純投資」であり、「中長期的な企業価値の向上に伴う値上がり益を目的として」当社株式を保有する旨が記載されていますが、それらが将来的に変更される可能性があるか否か、どのような事由が発生し又はどのような条件が成就した場合に保有目的が変更されるか、変更後の保有目的の内容、変更を行う事由、変更の時期等について具体的にご教示ください。
14. 大規模買付行為後に、当社の経営に関する何らかの提案又は助言等を行う可能性があるかどうか、また、どのような提案又は助言等を行う可能性があるかについて具体的にご教示ください。

第4 大規模買付行為の方法及び内容

1. 大規模買付行為についての具体的な検討を開始した時期、その結果大規模買付行為を行う可能性があるとの判断に至った理由、経緯、時期及びかかる判断を行う上での前提となった事実、並びにこの時期に意向表明書を提出した理由をご教示ください。
2. 数ある銘柄の中で、今回当社を投資先に選んだ理由をご教示ください。
3. 意向表明書において、株式市場の動向等を勘案して当社株式の買付けを行う可能性があると言われていますが、当社株式の取得方法については言及されておりません。かかる買付けは、市場で行う予定か、それとも公開買付けを実施する予定か、その場合の買付価格及び買付条件等についてご教示ください。
4. 上記 3. において、主として市場外での取引を検討しているのであれば、市場外での相対取得の候補者が存在するかどうか、存在する場合は当該候補者の名称、その保有する当社株式の数、及び当該候補者とレノグループとの関係についてご教示ください。
5. レノグループがこれまで行った当社株式に関する取引(レノグループ内の取引を含みます。)の内容(取引の時期、相手方、方法及び価格等)、当社株式に関して締結した契約その他の合意(口頭によるものを含みます。)の内容についてご教示ください。レノ社、三浦氏及び中島氏以外のレノグループ又はその構成員による取引が含まれている場合には、これらを共同保有者として取り扱っていない理由をご教示ください。

第5 買付資金の調達方法等

1. 大規模買付行為(現在までに取得した当社株式に係る買付行為を含みます。)に要する資金の調達の方法(出資者の名称、出資の金額及び条件、資金の借入先の名称、借入れの金額及び条件、並びに顧客資金の運用に係る顧客の名称、拠出金額及び拠出の条件等を含み

ます。)についてご教示ください。また、これらの出資、借入れ及び資金拠出を受けられることを証する資料をご提示ください。

2. 大規模買付行為(現在までに取得した当社株式に係る買付行為を含みます。)に要する資金について、レノグループのうち、大規模買付者グループに該当する法人、組合その他の団体の手元資金を利用する場合は、大規模買付行為に要する資金のうち手元資金の割合について、上記法人、組合その他の団体ごとにご教示ください。また、これらの手元資金を保有していることを証する資料をご提示ください。
3. 当社株式の取得に係る大量保有報告書によれば、現在までの当社株式の買付けの資金は、レノ社については自己資金を充てているとのことですが、資本金 1000 万円のレノ社において、他の投資先向け資金も含め、多額の投資資金に充てるための事業収益を、過去のレノ社の事業活動において、具体的にどのような方法で生み出したのかについて、ご教示ください。
4. 当社株式の取得に係る大量保有報告書によれば、現在までの当社株式の買付けの資金は、三浦氏及び中島氏については一部又は全部を信用取引により調達していますが、当社以外の銘柄の買付に関する三浦氏及び中島氏の信用取引の実績につき、ご教示ください。

第 6 大規模買付者が当社の経営に参画した後に想定している経営方針、事業計画、財務計画、資本政策、配当政策、労務政策並びに資産活用策等

1. レノグループは当社の企業経営に参加する意思を有しているか、仮に有している場合にはその具体的内容についてご説明ください。
2. 当社の企業価値の源泉はどのようなものであり、当社の企業価値を中長期的に向上させるためにはどのような施策を実行するべきと考えているのかについて具体的にご説明ください。
3. 当社事業に係る業界の今後の見通し、当該業界における当社の位置づけに関する考え方について具体的にご説明ください。
4. 上記 3. の認識の下、国内のパソコンの製造・販売業界の中での当社の位置付け(例えば、競合他社との比較等)、及び、これから当社が進むべき経営の方向性についてどのように考えているのかについてご説明ください。
5. 国内のパソコンの需要その他パソコン市場の今後の動向についてどのように考えているのかについてご説明ください。
6. 当社の経営方針に対する認識及び評価、適切と考える当社の経営方針について具体的にご説明ください。

7. 当社の資本政策に対する認識及び評価、適当と考える当社の資本政策、そのような資本政策を採用した場合に当社の企業価値に与える影響について具体的にご説明ください。
8. 当社の配当政策に対する認識及び評価、適当と考える当社の配当政策、そのような配当政策を採用した場合に当社の企業価値に与える影響について具体的にご説明ください。
9. 当社の資産活用策に対する認識及び評価、適当と考える当社の資産活用策、そのような資産活用策を採用した場合に当社の企業価値に与える影響について具体的にご説明ください。
10. レノグループの当社株主総会における議決権行使の方針(議決権行使基準の内容を含みます。)、その他の株主としての権利行使の方針について具体的にご説明ください。
11. レノグループ及びその役員が、日本において会社を実質的に経営し、当該会社の実際の業務に関与された経験の有無、及び、もしある場合にはその具体的な内容(レノグループの有する議決権の割合、実際の経営ないし業務への関与の形態を含みます。)をご説明ください。特に、日本のパソコン製造業に属する会社を経営ないし業務に関与されたご経験がある場合(但し、単に株式を保有した場合を除くものとします。)には、その内容について具体的にご説明ください。
12. レノグループが、今までに、日本以外の国において、株式の取得、役員のパイプライン等を通じて、会社を実質的に経営した経験の有無をご回答ください。仮に、かかる経験がある場合には、レノグループが経営した会社の名称、設立準拠法、事業所(複数の事業所が存在する場合には、その中の主要なもの)の所在する国又は地域、事業内容、沿革、資本構成及び財務内容、並びに、レノグループがどのように経営を行ったか(経営者を派遣したか、レノグループが当該会社に対してどのような成長の支援等をしたか等)についてご説明ください。
13. もし上記 11. 及び 12. のようなご経験がある場合には、それらのうちのどの会社に関するどのようなご経験が、当社の経営のどの部分にどのように役に立つのかについて、具体的にご説明ください。

第7 大規模買付行為の後における当社の株主(大規模買付者を除く。)、従業員、取引先その他の当社に係る利害関係者等に対する対応策

1. レノグループとして、当社の既存株主の利益を尊重し、その意思に従う意向があるかどうか、ある場合はその具体的内容についてご教示ください。
2. レノグループとして、当社従業員の労働環境の変更を求める可能性があるか、また、変更を求める可能性があるときはその内容と理由を具体的にご教示ください。
3. レノグループとして、当社と当社の現在及び将来の取引先の利益を尊重し、その意思に従う

意向があるかどうか、ある場合はその具体的内容についてご教示ください。

4. 当社に対して取締役その他の役員を派遣することを提案する可能性があるかどうか、どのような事由が発生した場合に役員を派遣することを提案する可能性があるかについて具体的にご教示ください。
5. 当社に対して従業員削減や事業売却を提案する可能性があるかどうか、どのような事由が発生した場合に従業員削減や事業売却を提案する可能性があるかについて具体的にご教示ください。
6. 当社について、増資・減資、合併、事業譲渡・譲受、株式交換・株式移転、会社分割その他これらに類する行為、重要な財産の処分若しくは取得等の取引に関する提案、助言又は影響力の行使(株式買取請求権の行使を含みます。)を行う可能性があるかどうか、ある場合はその具体的内容についてご教示ください。

以上